

広報 かわぐち

発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場総務課
(〒949-75 ☎0258(代)89-3111)

新潟県史刊行の一案内 ……予約募集中……

新潟県が立県百年を記念して編さんを進めている「新潟県史」二巻が、昨年度に続いて、この三月に刊行されます。同二巻は、新潟県の歩みと通史編九巻の総索引を併録した「別表一年表・索引」、新潟県内外の諸家・諸機関に所蔵されている当県関係資料の所在状況をまとめた「別編二資料所在目録」です。

● 頒布価格(分売可・送料別) 別編1(年表・索引) 三千七百元
別編2(資料所在目録) 四千四百円

● 申込み先 新潟市新光町四番地一 新潟県総務部県史編さん室 (☎025-2851551)

● 申込み方法 官製ハガキに、住所・氏名 購入巻名・部数・公私用別 電話番号などを記入して、お申し込みください。

保育所の入所申請を 受け付けいたします

● 提出先及び提出期限 一月三十一日(火)
川口町役場福祉課

● 入所施設 東部保育所 西川口保育所 上川保育所 田麦山保育所
※申請書は、福祉課及び各保育所にあります。不明の点は福祉課にお問い合わせください。



は福祉課にお問い合わせください。

1月10日は「110番の日」です

- 正しく上手に使う 110番
- 慌てず落ち着いてかけよう 110番
- 事件事故見たら聞いたら 110番

“豊かな心で 犯罪・事故のないまちづくり”
小千谷警察署

法務局の休日に ついてお知らせ

—新潟地方法務局—

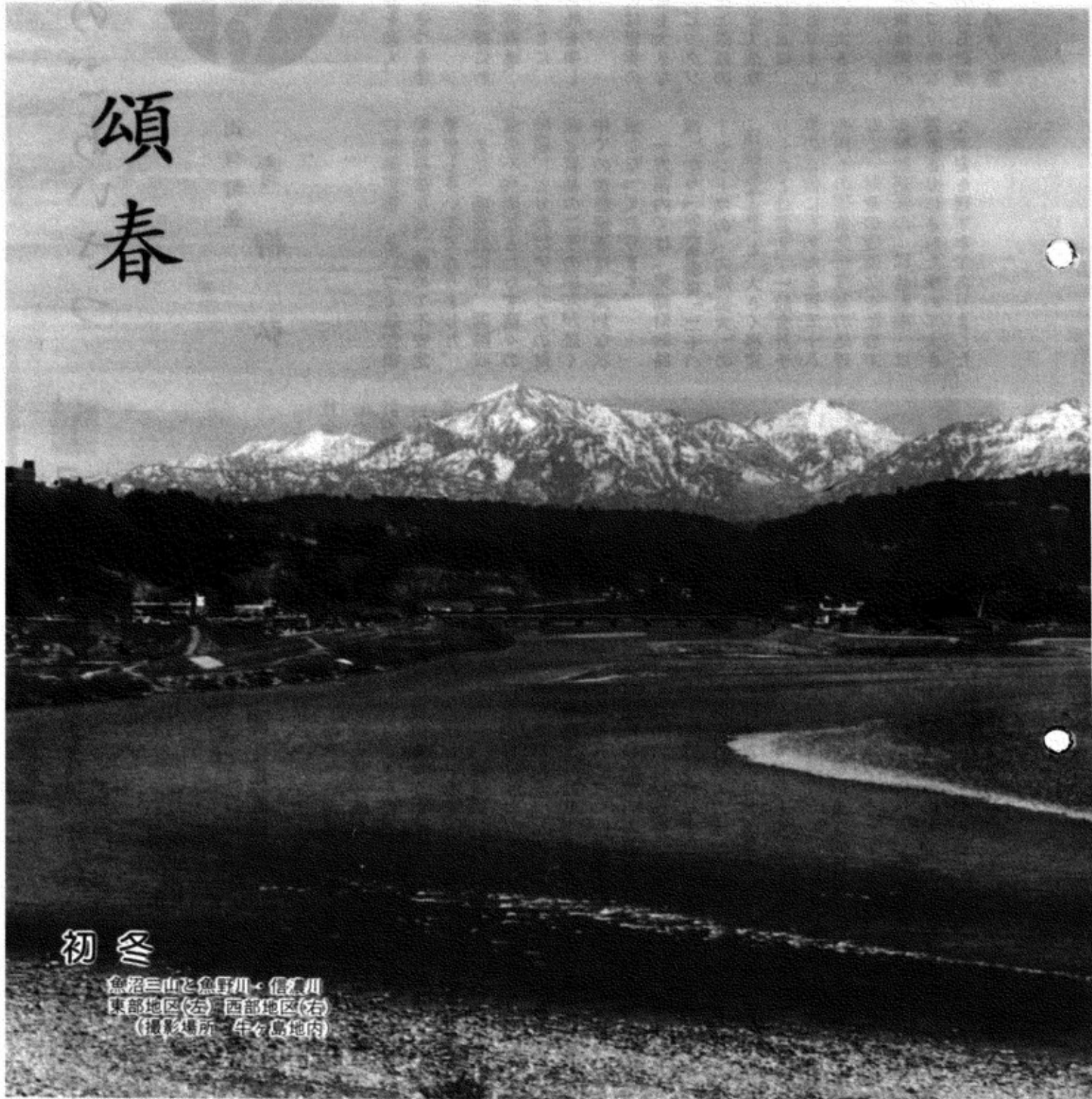
法務局(登記所)の休日が、一月一日から次のとおりになりましたので、お間違いのないようにご利用ください。

- 一、日曜日並びに毎月の第二土曜日及び第四土曜日
- 二、国民の祝日に関する法律(昭和二十三年法律 第百七十八号)に規定する休日
- 三、十二月二十九日から翌年の一月三日までの日(前号に掲げる日を除く。)

新春 囲碁・将棋大会

日時 1月22日(日)
AM9:00~PM5:00
場所 町総合福祉センター
参加費 一般 1,500円
中学生 700円

あなたを守る110番



頌春

初冬

魚沼三山を魚野川・信濃川
東部地区(左) 西部地区(右)
(撮影場所 牛久島地内)

おもな内容	年頭のごあいさつ…………… 2~4	新しい年を迎えて各界の皆さん…………… 8~10
	固定資産税の軽減…………… 5	やったぜ子ども画伯!…………… 12~13
	町議会12月定例会…………… 6	木沢焼きを尋ねて…………… 14~15
	天納地区に待望の給水…………… 7	お知らせコーナー…………… 16

人口	6,511人	昭和64年1月1日現在
男	3,175人	
女	3,336人	
世帯数	1,502戸	

年頭のごあいさつ



川口町長
青柳 弘

一九八九年の新春を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年中は町政の各分野にわたりまして、何かと御指導、御協力を賜りましたことに、まず、心から厚くお礼を申し上げます。

昨年は、国際的には世界の平和にとりまして最も大きな影響力をもつオリンピックソウル大会が、五輪史上最高の百六十ヶ国参加のもとで成功裏に開催されましたことは、平和を愛する国民にとりましては、このうえもない大きな喜びでありました。

に地震災害、あいつく航空機、船舶事故など、極めて不安定要素も多い年でありました。また、経済的には、国際収支の不均衡がもたらす諸々の問題、とりわけアメリカの財政と貿易の二子の赤字が続く中で、世界経済は、深刻な状況となっております。

一方国内では、「緊縮財政路線」から「公共事業費」二十パーセント増の「内需拡大」の「積極型予算」と、大きく様変わりしたと言え、一般会計予算の三倍にもあたる百五十八兆円もの国債発行残高の処理など、財政の硬直化を改善する財政運営の「構造転換」は置きざりにされた極めて大きな不安を残す年でありました。

1 「新しい地域づくり」から

「町づくり」へ

町の活性化 一歩前進

リゾート整備基本構想及び生涯学習のむら建設 国が正式承認

こうした内外共に激動する社会経済情勢の中ではありましたが、当町におきましては、計画致しました各般の事業が、いずれも予定どおり、順調な進展をみており、また一歩前進することができた年であったと思えます。



▲町活性化を目指し、現在新しい町づくりが進められています。

特に「リゾート整備基本構想」及び「生涯学習のむら建設」が正式に国の「承認」をいただきましたことは、大きな喜びであります。

高齢化社会を迎えた今、ようやく「週休二日制」が話題になったり、「リゾート法」が制定されたり、「バカンス法」が急浮上したり、各省庁が、口をそろえて「生涯学習」を唱えはじめているとき、この二つの大きな事業を導入することに成功致しましたことも一重に皆様方の温かい御指導と御協力の賜でありまして心から厚くお礼を申し上げます。

これらは、将来に向けた「新しい地域づくり」から「町づくり」へと移行し、「町の活性化」と「民生の安定」に大きく寄与するものと信じております。

各種事業も 順調に推移
生活産業基盤やうるおいのある環境 基盤の整備など

また、事業面におきましても「第三期山村振興対策事業」をはじめ

「克雪用水確保対策事業」 「団体営かんがい排水事業」 「農業生産基盤整備事業」など「新規」に採択いただきました「国庫補助事業」を中心に数多くの事業が完了、または順調な形で推移いたしております。

継続事業につきましても、「農村基盤総合整備事業」をはじめ、「観光レクリエーション地区施設整備事業」や「地域バイタリティー事業」並びに「町道改良」から「災害復旧」まで、各種の、定住環境整備事業、を予定どおり実施することができました。

さらに、「国道十七号の改良」「木沢トンネルの着手」「河川事業」「砂防事業」並びに「ふる里友好都市交流事業」など、国県の直轄事業及び町の活性化対策も着実に進展いたしております。

2 「企業感覚」による

「合理的な町村経営」に 徹し 健全財政を堅持

さて今日、国・地方を通じまして、高度成長期に肥大した行政の減量化及び借入金依存の増大によって悪化した財政構造の健全化が、行財政の緊急の課題となっております。

我が川口町におきましては、すでに数年前より「財政再建整備計画」を樹立いたしました。この「企業感覚」による「合理的な町村経営」に徹しながら、一、既定経費並びに制度の見直しを行うスクラップアンドビルド方式の採用や

二、起債(借金)による事業は厳しくこれを抑え、公債費は交付税に見かえりのあるものを選択したり
三、先取り行政の展開により、国庫補助事業を積極的に導入したことなどによりまして、「経常収支比率」「公債費比率」「人件費比率」など財政運営の適否を表す各係数は、いづれも正常値を示すなど、財政改

善」に対する取り組みと「財政運営」の成果について、県御当局からも、高い評価をいただいております。

このように、極めて厳しい社会経済環境の中で、健全財政を堅持しながら各分野にお

いて目標を上回る大きな成果を収めることが出来得ましたことも、ひとえに皆様方の温

3 来たる二十一世紀に

大きくはばたくことのできる

「調和のとれた活力のある 温かい町づくり」に 精魂を

私は、新年を迎えるにあたり、皆様方から寄せられました信頼と期待に応えるべく思いを新たに、全力を尽くして

町政の遂行にあたる決意であります。

ご案内のとおり我が国は今、増高する国債や、貿易収支の不均衡がもたらす深刻な影響に加えまして、「人口の高齢化」「国民の価値観の多様化」「高度情報化社会への移行」など、まさに、歴史的な変革期に入っております。

自主的・創造的 行政の展開

こうした激動する内外情勢の流れの中で、地方自治をあずかる私共の役割は、いよいよ大なるものがあります。

今日の「行政制度」と「財政構造」の中で、町民の皆様を理解をいただき、合意を形成しながら、我が川口町がいつ

までも川口町であり続ける。ためには「行政の刷新合理化」を図りながら、常に「自主的・創造的」行政を展開しなければならぬと考えております。

私はいつも申し上げておりますが、時代は今、歴史の大きな変革のうねりの中にある。ということでありませう。

時代が変わろうとする時、その変動をいち早く察知して自らの意識の改革を行わなにかぎり、新しい時代に対応することはできないと思っております。

この激動と転換の厳しい社会経済環境の中ではあります。私は今後更に「発想の転換」をはかり、皆様方の理解と協力をいただきながら、来る二十一世紀に、大きくはばたくことのできる「調和のとれた活力のある温かい町づくり」に精魂を打ちこむ所存でありますので、温かい友情と厳しい御指導を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆様方の限りな御繁栄と御健康を心からお祈り申し上げます。ごあいさつといたします。



▲未来に向けて大きくはばたくことのできる町づくりに向って!!

新春のごあいさつ



川口町議会議長
小宮山 久治

町民の皆様、明けましておめでとございます。

皆様お揃いで新春を迎えられたこと存じ、衷心よりお慶び申し上げます。

町民の皆様には、日頃から町政に対する温かいご理解と絶大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

お陰をもちまして、昨年も着実に発展への基盤を固めてまいりましたが、ここに新年を迎え、川口町の一段の躍進を期して、清新の気がみなぎるのを覚えます。

町村議会議長会

創立四十周年

昨年は、町村議会議長会創

立四十周年式典が、新潟市自治会館で関係者多勢出席の中で行われました。

終戦直後の混乱期の中で、地方自治の円滑な運営とその刷新改善、地方自治の振興発展を図ろうと、戦後の民生安定、農地改革、六三制の義務教育制度、町村合併、風水害豪雪災害からの復旧、また高度成長期における公共事業の促進、福祉施策の推進、さらに安定成長期に入ってから行政財政改革、地域活性化対策など、幾多の困難な問題に直面してまいりました。この間、先輩議員をはじめ、関係者のたゆみない努力により、時々課題をよく乗り越え、住民福祉の向上が着実に図られてまいりました。

高齢化、国際化 情報化社会を迎え

今日、町村をとり巻く行政環境は、人口構成の高齢化、住民の価値感の多様化、国際化、高度情報化が急速に進みつつあり、さらに二十一世紀に向けて進展することが予測されます。

このような歴史の変革期にあつて、住民のニーズに的確にこたえ、新しい時代に即応する町村自治実現に向けて、行政の抜本的見直しを図り、自主的、主体的な地域づくりを積極的に推進しなければならぬ時期にあります。

自治振興に

総力を結集

今、川口町において、青柳町長は就任以来、他に先がけ行政改革、財政構造の改善にいち早く手掛けられ、また中山高原開発を核としたリゾート地域づくりは、社会の注目を集めるに至ったことは町民の自慢であり、町の活性化に大きく貢献するものと確信す

るものであります。

年頭にあたり、山積みする課題に対し、議会として地域住民の信頼と期待にこたえるべく、議会の機能を十分に発揮し、自治振興のため総力を結集して、その実現を期する覚悟であります。

これからは、税制の抜本改革、農畜産物の輸入自由化、

迎春

川口町議会

- 議長 小宮山久治
- 副議長 鈴木隆司
- 議員 綱 直太郎
- 覚張定一
- 森山子之吉
- 星野幸夫
- 金子 武
- 岡村 清
- 波部庄平
- 古田島博英
- 佐藤与喜男
- 関 弘蔵
- 山吉勝治
- 広井新太郎
- 星野重雄
- 覚張精三郎



農業振興対策、リゾート開発、下水道事業など従来の制度施策の大きな転換が図られようとしています。このような変動と時代の要請の中、町民の皆様の一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。皆様のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

土地・家屋・償却資産などにかかる税金を下げます。来年度から実施

固定資産税を軽減

昨年に引き続き

税率を一・五九%から一・五%に引き下げ

一月臨時議会に提案

昨年、固定資産税の税率の引き下げ(一・八%から一・五九%)を行い、税負担の軽減を図ってきましたが、町では、更に同税率の引き下げを検討してきたところ、このほど、その案がまとまり、現在町税条例の一部改正について準備を進めるとともに、この一月臨時議会に引き下げの提案をすることになりました。

固定資産税の税率引き下げに伴う、町税条例の一部改正案では、現在の税率一・五九%を一・五%に引き下げを予定しており、税額にして約二%程度の減額となります。

又、実施は来年度課税分から行うこととしております。

なお、今回の引き下げが行われた場合、前回の引き下げとを合わせると、仮に固定資産税の課税標準額が一千万円

税率引き下げに伴う減税額

(例) 固定資産税の課税標準額が

1千万円の人

課税標準額 × 税率 = 税金

1千万円 × 1.59% = 15万9千円 (現行)

1千万円 × 1.5% = 15万円 (改正後)

となり9千円が減税となります。

の人の税額は、十八万円から十五万円となり三万円の減額となり、大幅な軽減措置が行われることとなります。

固定資産税の課税対象

固定資産税は、土地(田、畑、宅地、山林、原野等)や、家屋(居宅、倉庫、車庫、作業場、工場、店舗等の建物)、償却資産(機械、器具等)に対して課税される税金で、毎年一月一日現在の所有者に課税されます。

また、固定資産税の税率は、一・四%から二・一%の範囲内で市町村の条例で定められることとなっています。

町の税率は、昭和六十二年まで一・八%を採用してまいりましたが、前回の見直しにより、現在一・五九%となっております。これは、二十八年振りに引き下げが行われたもので、更に、今回一・五%に引き下げる町税条例の改正が一月臨時議会に提案されることとなります。

住民負担の軽減

なお、今回の固定資産税の軽減措置は、国における税制全般にわたる改革の一つとし

て、住民負担の軽減及び合理化等がなされる中で、個人住民税の税率や土地税制の見直し、改正が行われており、町も国のこうした動向と最近における町の財政状況を勘案して、町税の税率の見直しを行い、固定資産税の税率を引き下げて、住民負担の軽減を図るものです。

また、町の財政運営は、「企業感覚」による「合理的な町村経営」に徹しながら、これまでに補助事業の積極的な導入や起債(町の借金)は交付税に「見かえり」のあるものを選択するなど、起債事業を抑え、町債の増加の抑制を図るとともに、利率の高い不利な町債の繰り上げ償還を行うなど、借金依存体質からの脱却を図ってきており、財政状況を改善されてきております。今回の税率引き下げの措置は、こうした成果によるものです。しかし、財政基盤は脆弱であることには変わりありません。

また一方では、減税先行型の税制改正により税収が減る中で、限られた財源を最大限に活用し、効率的な財政運営がますます求められています。

町議会十一月定例会

原案通り可決

条例改正など十三議案

町議会十二月定例会は、十二月二十一日に開かれ、町職員給与改定に伴う条例の一部改正及び町監査委員の任期満了による選任、昭和六十三年度一般会計補正予算など、十三議案が審議され、いづれも原案通り可決されました。

●議案第五十八号
川口町職員の給与に関する条例の一部改正について

国家公務員に対する人事院勧告のベースアップに準じて町職員の給与を六十二年四月一日にさかのぼって改正したものです。

●議案第五十九号
川口町行政財産使用料徴収条例の一部改正について

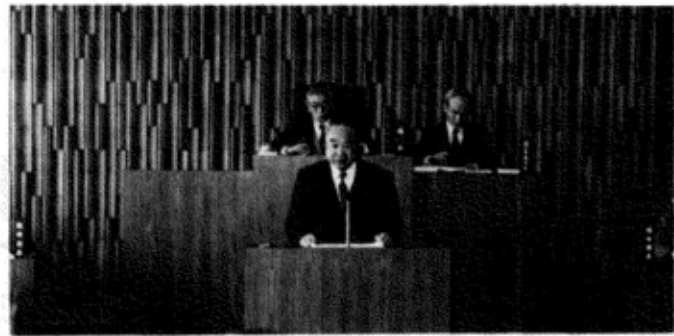
行政財産の目的外使用に係る使用料の中で、その算定となる「公衆電気通信法施行令」が「電気通信事業法施行令」に名称が改められたため、同名称に改正したものです。

●議案第六十号
川口町工場地誘致条例の一部改正について

国による新潟県のリゾート構想承認に伴い、本町の重点整備地区への関連企業を積極的に誘致するため、観光、保養施設等を新たに加えたもの。

●議案第六十一号
川口町ガス供給条例の一部改正について

この二月一日から、金融機関の週休完全二日制の実施に伴い、料金の算定等（早収・



▲12月定例会は12月21日開会。

遅取料金)の期間に除外される休日のうち、現行の第二、第三土曜日を全土曜日を休日とする改正を行ったものです。

●議案第六十二号
長岡地域土地開発公社定款の一部変更について

公有地の拡大の推進に関する法律の一部改正に伴い、定款の一部を変更したものです。

●議案第六十三号
新潟県消防団員等公債組合を組織する地方公共団体の数の増加及び新潟県消防団員等公債組合規約の変更について

同組合に新しく一団体が加入したことによるものです。

●議案第六十四号
川口町監査委員の選任について

同委員の任期満了（知識経験を有する者）に伴うもので渡辺勇さん(川口二)が選任されました。

●議案第六十五号
昭和六十三年度川口町一般会計補正予算(第三号)について

歳入歳出それぞれ七千六万二千円を増額し、総額を二

十三億四千七百四十六万九千円とするもので、それぞれ予算整理したものです。

●議案第六十六号
昭和六十三年度川口町国民健康保険特別会計補正予算(第二号)について

歳入歳出百九十七万三千元を増額し、総額を三億一千三十九万六千円とするもので、それぞれ予算整理したものです。

●議案第六十七号
昭和六十三年度川口町老人保健特別会計補正予算(第二号)について

歳入歳出それぞれ百三十一万六千円を増額し、総額を三億二千百六十七千円とする

もので、それぞれ予算整理したものです。

●議案第六十八号
昭和六十三年度川口町簡易水道事業特別会計補正予算(第一号)について

歳入歳出それぞれ六百万円を増額し、総額を一億七千四百万円とするもので、それぞれ予算整理したものです。

●議案第六十九号
昭和六十三年度ガス事業会計補正予算(第二号)について

収益的支出の子備費九十三万六千円を使用し、また資本的収入及び支出における収入額の不足に対する補てん措置を講じ、それぞれ予算整理したものです。

町監査委員に

渡辺 勇さん(川口二)を再任

先の町議会十二月定例会において、任期満了に伴う町監査委員に渡辺勇さん(川口二)が再任されました。

町監査委員の定数は二人で、議会の同意を得て、町の財務管理、事業の経営管理について、専門の知識又は経験を有する者と議会の議員のうちから選任されています。

渡辺さんは、知識経験者の中から選任され、今回で二期目、任期は四年間です。

天納地区に
待望の給水開始

中央簡易水道天納地区
拡張工事が完成

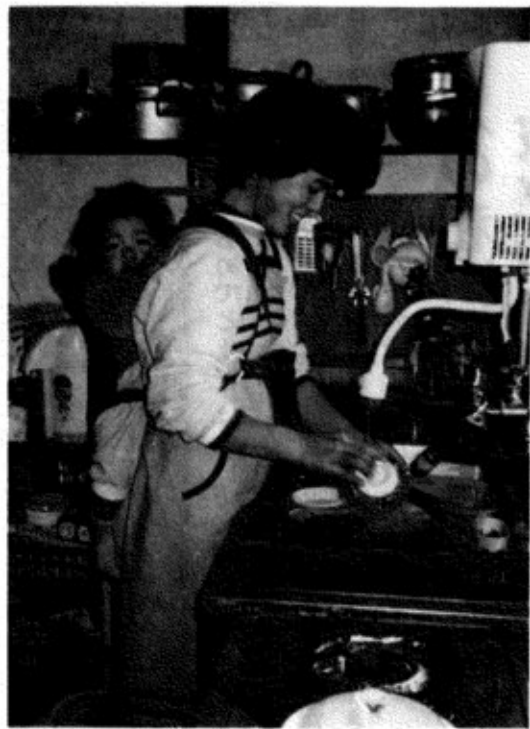
本年度事業として計画されていた、天納地区(相川三)の簡易水道新規拡張工事が終わり、去る十二月一日から給水が開始されました。

文化的な生活に欠くことのできない水は、現在中央簡易水道、田麦山簡易水道、小高簡易水道、西倉簡易水道の四つの施設で給水が行われ、給水普及率は九十三・二%となっています。

町では、できるだけ早い時期に一〇〇%給水を目指し、簡易水道整備などに全力を注いでいます。

今回、給水された天納地区は、これまで、地域内に良好な水源がなく、また隣接する相川地内からの導水も遠隔地であることや、水量不足などから、今まで水道の未普及区域でありました。

このような中で、昨年度完



▲思わず「ニコリ」地元で

成した中央簡易水道増補改良事業により、水量不足や水質不良が改善され、飲料水の安定給水が確保されたことから、同地区への拡張工事が行われ、この度完成し待望の給水が行われたものです。総事業費は、配水管(総延長二千二百三十m)、ポンプ設備など二千七百万円。

これにより同地区では、日照りによる井戸の濁水や衛生面での心配がなくなり、安心して豊富に水道を使えることになりました。

また、地区内の進出企業に給水するなど、地域の発展にも資することになり、地域の活性化につながるものとし、地元では喜んでいきます。

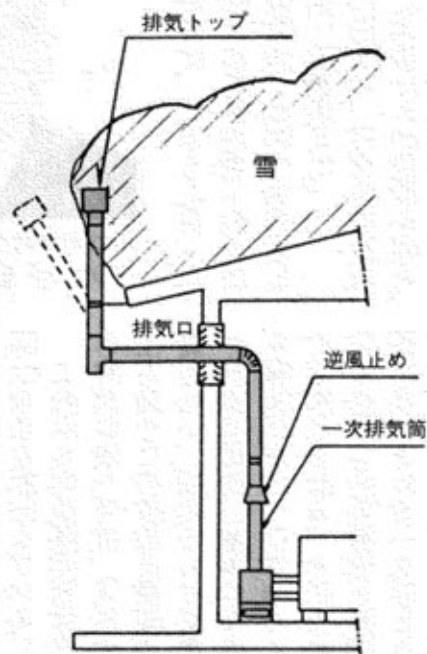
なお、水道の布設は、多額の費用がかかる事業ですが、毎日の生活に欠かすことのできない「ライフライン」として、水道の目的を堅持しながら、これからも未普及区域の解消や既設施設の拡充に努めます。



雪による
排気筒(ガス風呂・湯沸器)の
折れや閉塞に注意!

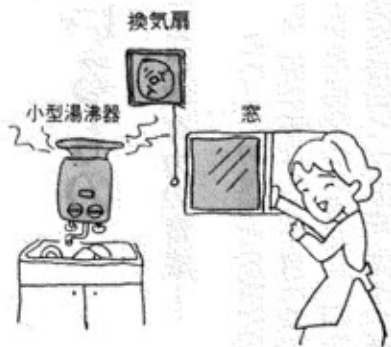
今年は大雪の子報です。ガス風呂、湯沸器の排気筒が積雪で壊れたり折れたりすると、ガスの不完全燃焼をおこし、中毒事故の原因になります。

排気筒の雪害に注意して下さい。



換気にも
気を
付けましょう

冬は換気不足になりがちです。ストーブや湯沸器を長時間使用するときは、時々窓を開けるなど、換気に気をつけましょう。



新しい年を迎えて 各界の皆さん

新年あけましておめでとう
ございます。「一年の計は元
旦にあり」といわれませんが、
皆様それぞれ新しい年を迎え
て、新しい出発をされたので

はないでしょうか

今回は、各界の皆さんから
新春を迎えるの抱負や決意な
どについて、寄稿いただきま
した。ご紹介します。

「人の和」で 波立つ世界に敢然と



工場長 金子英策
株式会社酒巻製作所 金子

川口町の皆さん、あけまし
ておめでとうございます。
私たちは、この美しい山河
に囲まれ、四季おりおりの変化
に富んだ、この恵まれた風土
のなかで、豊富な人的資源の
中から優れた人材が育ち、当
社は着実に発展してまいりま
した。当社は、電気ドリルに
装着するドリルチャック、マシ

ニングセンターに必要なCN
C円テーブルやNCツリーリ
ングなどを製造する、「技術」と
「品質」をモットーとする工作
用機器メーカーであります。
昭和二十一年に創業、四十
三年には当川口町中山に進出
更に五十八年には、業界最新
鋭の設備を完備して、貝之沢
工場に集約されました。そし
て、その蓄積された精密加工
の技術は、広く県内外から認
められ、その生産品は国内は
もとより、広く海外三十ヶ国
に輸出され、それぞれに高い
評価を受けております。
特に、昭和五十八年にはス
ペースシャトル「チャレンジ

ヤー号」に搭載され、太陽観
測衛星「ソーラーマックス」
の宇宙空間での修理に、全世
界の電動工具の中から、我が
社の製品が選ばれ、世界初の
偉業に貢献し、広く世界に技
術の優秀さを印象付けると共
に、社員一同さらなる技術の
研鑽と決意を新たにしたもの
であります。
御承知のとおり、新しい年
を迎えた国際社会は、自由化
の波いよいよ高く、高度にス
ピード化された情報システム
と縦横に整備された交通網に
よって、ますます熾烈な競争
を迫られております。
昨今の状況をふまえ、私ど
もは酒巻製作所の社標であり
ます「ユキワ」が、この雪深
い環境にちなんで「雪の輪」
を、当社永遠の希いである
「人の和」にかけてのデザイ
ンであるところから、そのい
われのとおり全社一丸となっ
て、波立つ世界の市場に対応
する決意であります。
今後とも川口町の一員とし
て、地域に根ざした会社づくりに
邁進いたす所存であります
ので、皆様方の末長きご支援
を宜しくお願い申し上げます。

いま学校に 求められているもの

—基礎・基本の徹底と自己教育力の育成—



川口中学校長 小杉新三さん

文部省は、昨年十二月、六
十三年度版教育白書「わが国
の文教施策—生涯学習の新しい
展開」を発表した。
その特色は、従来の学校教
育中心主義からの脱却を唱え、
生涯学習における学校の在り
方を説いている所にあるとい
われている。
白書は、臨教審の「生涯学
習体系への移行」という提言
を受け、改めて生涯学習の基
盤としての学校教育の在り方
と、学校が生涯学習体系の一
環として、さまざまな学習機
会を提供するための役割と行
動を広げることが提示している。

この二つの役割の前者に関
し、同白書は生涯学習の基盤
としての学校教育では、初中
教育段階で、①基礎・基本の徹
底と②自己教育力の育成が主
眼になると提示している。
これからの生涯学習体系へ
の移行に当たっては、人間の一
生を通じての成長と発達の高
基礎を培い、国民として必要と
される基礎的、基本的な内容
を確実に身につけさせること
が必要とされる。そのために
はその内容の明確化と精選が
更には、それを一人ひとりの
児童、生徒に確実に身につけ
させる個に応じた指導の一層
の工夫が必要とされるという
ことである。基礎、基本の徹
底とはこのような意である。
第二は自己教育力の育成で
ある。
自から学ぶ意欲と、社会の
変化に対応できる能力、態度
を育成することは、学校教育
の果たすべき重要な役割であ

る。このためには、児童生徒
の発達段階に応じて、必要な
知識、技術を確実に身につけ
させながら、思考力、判断力、
表現力などの能力の育成を教
育の基本に据えることが求め
られる。更には、自から学ぶ
目標を定め、何を、どのよう

に学ぶかという主体的な学習
の仕方、態度を身につけさせ
ることが必要となる。
①②ともに古くから学校教
育の基盤とされてきたことで
はあるが、改めてその重要性
を認識させられ、その具体化
に腐心している。

夢は大きく 我が町からオリンピック メダル選手を



町体育協会会長 山田英夫さん

新しい年を迎え、今年こそ
あれもやりたい、これもやり
たいと、スポーツマンの夢は
大きく膨らむ。

昨年は、四年に一度のオリ
ンピックイヤーで、明けても
暮れてもスポーツ愛好者にと
って素晴らしい年でした。二月
にはカルガリー冬季オリンピ
ック、そして九月のソウルオ

リンピックとテレビを通して
興奮と感動。それにしても残
念ながら世界の厳しさを知る
べし、日本の国際レベルはま
だまだといったところであろ
う。ひと昔、外国選手には見
られぬ日本の技術によって、
世界と対等の力を発揮し、世界
を制覇した時代があった。そ
れが、今日では努力はしている
であろうが、これはと思われ
る目立った創意工夫がないこと
が、世界ばかりではなくアジア
でも弱い国になった原因では
なからうか。ガンバレ日本!!
強さと美しさといえは、何
といても女子短距離のジョ
イナーであろう。苦しさばか

りでなく、笑顔で、より美し
くゴールする、まさにファッ
ションを見ているようである。
今までのオリンピックの合
言葉「より速く」「より高く」
「より強く」にプラス「より美
しく」という一言をつけ加え
ることが、ピタリでなかろ
うか。すべてのスポーツにこ
んな時代が来たようである。
さて今年、体育協会の会
員も一、一〇〇名になり、発足
十五年目を迎えます。その記
念イベントとして、みんな
走ろうマラソン四十二・一九五
キロメートルを計画してい
ます。
運動公園をスタート、ゴー
ルとし、町内一周を一人一〇
〇メートルづつ四二一人でリ
レーしながら、デンシモ(エ
チオピア)の世界記録二時間
六分五〇秒に挑戦するリレー
マラソンである。この実施に
どうか町民みなさんの物心両
面の応援をいただき、町民総
参加を呼びかけ、成功させた
いものです。
スポーツ振興は決して疎ん
じられる問題ではありません。
まだまだ予算、施設、指導者
など数多くの研究課題はある

女性の特性を生かし 商工業の振興に



町商工会婦人部長 堀沢峰子さん

うが、真の豊かさを求め、健
康なスポーツ振興や競技力向
上を図っていかねければなら
ない。
とにかく、我が町からオリ

新年あけましておめでとう
ございます。
商工会婦人部員の皆様をは
じめ、日頃お世話になってい
る町当局の皆様と共に、新春を
迎えることが出来ましたこと
を心からお慶び申し上げます。
昨年度の私達部活動の中で、
婦人の特性を生かし、地域の
協力者となって行った最大の
行事は、なんとと言っても、川
口まつりの参加だったのでは
ないかと思えます。
童心にかえって「みこし」
を一緒に担いだ時の部員の

ンピックで、メダルを取るよ
うな選手が出るのが夢であ
る。これに人生をかけてもい
いと思っている、私の一人よ
がりであろうか。
目の輝きは、一生の思い出と
なりました。これからも、定
着した事業の一つとして続け
て行けたら、年々素晴らしい
ものになると思います。
次に、美しい町づくりの奉仕
事業として、六月十日商工会
の日に「花いっぱい運動」が実
施出来たことです。東部と上
川保育所に行き、園児と一緒
に花の種を花壇に播き、花の
芽が出て朝顔の花が咲いた時
大きな喜びを感じました。
自分たちの住んでいる町を、
より美しく、暮らしく造り
上げていく運動は、何よりも、
女性の参加が重要な役割を果
しているという自信を持つこ
とが、全て商売の繁栄につな
がると思えます。
「私のお家も景色のひとつ、
私のお店も町の顔」の精神こ
そ地域づくりの原点だと思

ます。個性豊かな街づくりを力合せて行きたいものです。好きな言葉の一つに「心を燃やし、身を粉にして」が大好きな言葉です。その通りに生きようとして心を燃やし、身を粉にして営み、自分の家の商売を誇りに思い、何んの苦勞も感じることなく、目標の半分が達成できたら幸福と書くことにしています。

そして、住みよい町づくりを目指して、県婦連の指導の下で実施されている「お伺い

世はグルメ時代

より「安全」で「良い」もの「うまい」ものの生産に努力



新潟県指導農業士 川上 清一さん

昨年、全国的に天候不順に見舞われ、農作物の生育が悪く、東北の冷害をはじめ気

象的要因によるいろいろな被害を耳にする年でした。それに加えて、農業をめぐる内外の情勢は、益々厳しく、特にコメに関してのマスコミは毎日のように、目や耳に入ってきました。

大きな貿易黒字、それを背景とした円高、またしても工業など輸出産業の陰で耐えなければならぬ農業。そういう

う大きな動きに押し流されながらも、農民は昔からそれぞれ、先祖代々の土地を守りながら脈々と生活をしてきており、食糧を生産するものの強さであった。

しかし、ここに来て、それらの流れが時代と共に変わろうとしている。新年を迎えて、心新たにそれらの行方を見つめながら、自分の経営の足元を固めたいものである。

今、世をあげてグルメ時代。おいしいものを求める声が増えてきています。食べものを作るといふ思想の中で、より「安全」なもの、「良い」もの、「うまい」ものが作れるよう努力しているところであります。

幸い我が町の土壌、気候の条件は、とてもおいしい農産物を生産することができ、加えて、土づくりをしていくことによって栽培の安定を図りたいと思っています。無機、有機の土壌改良剤の散布も大切なところですが、良質な堆肥等の有機質資材を投入することで、良い土壌菌や微生物の活動が活発となり、健康な土壌ができます。

作物の為に肥料をやるとい

多様化した情報化社会の「立て役者」、通信衛星さくら3号

現在CS-2のサービスを引き継いだ通信衛星3号（CS-3・愛称さくら3号）が活躍しています。

衛星通信のシステムは、次のような特長をもっており、これらの特長を生かして、電話を始め、ファクシミリ、テレビ会議などさまざまなサービスに利用されています。

- 一つの衛星で日本全国をカバーでき、同じ情報を多数の場所と同時に受信できます。
- 日本のどこからでも衛星を通して通信できるため、イベントなどの会場から臨時に映像などを送れます。
- 衛星通信は、多くの情報を送ることができるため、映像、音声などの伝送が容易にできます。
- 衛星は宇宙にあるので、地震や台風などの地上災害の影響を受けないことがありません。

通信衛星3号(Communication Satellite-3)打ち上げ写真。(写真提供・宇宙開発事業団)

うよりも、土の中に住んでい、土の中の小さな生き物が、あの大きなスイカや黄金色のイネができるのに、大きな役割を果しているのです。今度は、この肥料をやったかどうか？この肥料を入れたら変なことでありますが、少しくうなるのではないかと、考

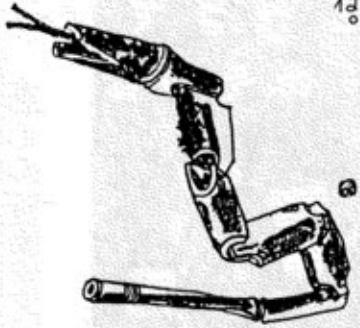
今年巳年

今年巳年、すなわち蛇年です。蛇は、十二支のなかの唯一の八虫類ですが、古くは恐竜、現代では亀やトカゲ、ワニなどの仲間です。

蛇と聞いただけで、嫌悪感をもよおす人もいるようですが、それは多分にあのブロンテスワナの姿のせいです。脚部の退化・消失してしまった細長いからだ、S字型を書くようにくねくねと動く様子は、蛇独特のもので

あ、細長いからだ、内臓はどうなっているのだろうか？心配には及びません。内臓も体に合わせて細く伸びているほか、腎臓など本来は左右にあるべきものが、前後に位置を占めておさまっているそうです。

蛇は、古来、恐れられ排斥される一方で、崇拜と畏敬の対象でもありました。日本では、神のお使い、あるいは神そのものと思われていた様子が、古典や伝説、昔話に多くみられます。



例えば、池や沼の主を大蛇

気象庁・富士山測候所

厳寒の中での気象観測

毎日の身近な情報に天気予報があります。天気予報は、全国各地に張り巡らされた気象観測網でデータを集め、最終的に気象庁や地方気象台から発表されます。その観測網の中でも重要な役割を果たしているのが、富士山測候所にある気象レーダーです。

世界最高地にある気象レーダー

海拔三七七六メートルの富士山は、もちろん日本一高い山。この山頂に気象レーダーが設置されたのは昭和四十年のことです。

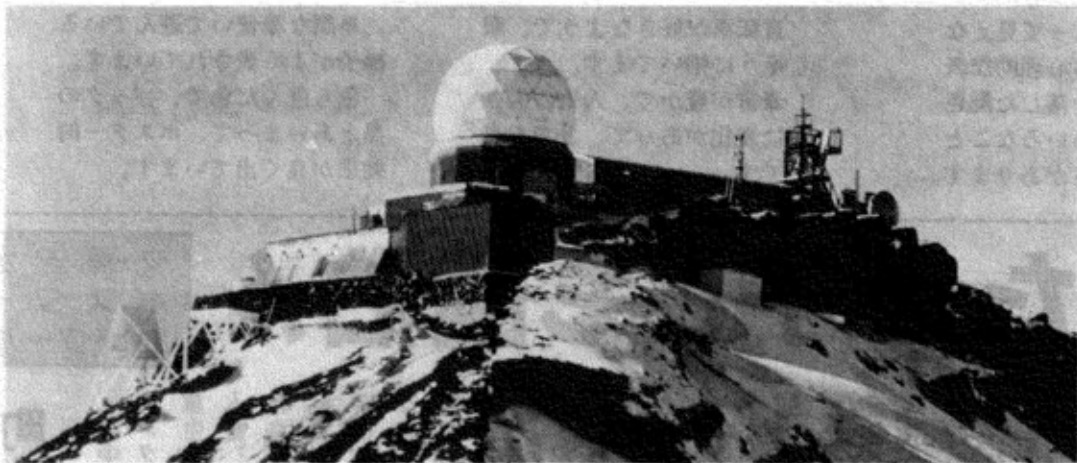
本州中央部とその南海上を探知範囲とするこの気象レーダーは、世界でも最大級のもので、また、世界でも高い所にある気象レーダーとしても知られています。観測は東京管区気象台（東京都千代田区）からの遠隔操作で行われ、台風や大雨などの観測に威力を発揮します。

観測を支える六人の職員

昭和七年に富士山に観測所が設けられた当時は、山頂の気圧、気温、湿度、風向、風速、雲といった地上気象の観測だけを行っていました。現在は、地上気象観測やレーダー気象観測のほか、VHF気象無線通信の中継基地としての役目も果たしています。

富士山山頂は、年平均気圧約六百四十四ミリバール（平地の約三分の二）、年平均気温マイナス六・五度、年平均風速十一・七メートル/秒。この中で、常時六人の職員が三週間交代で勤務しています。

わたしたちの生活に欠くことのできない天気予報は、このような厳しい自然条件の中での観測活動によって、支えられているのです。



木沢焼きをき尋ねて

スポット

「生きがい」「地域おこし」に 夢ふくらむ

木沢・峠に弥生式土器や縄文式土器が出土したとか……先住民は、土地の土をこねて、種もみ保存のカメを作り、酒器、皿(生活道具)をひねって焼いたはずである……。それなら、木沢・峠に先住民ご使用の良質粘土がある筈。



▲夢が大きくふくらむ。中央が高野校長、左端は小野教頭先生、右2人が地元の方。木沢小学校校長室で

「ありました。これは、木沢小学校(高野校長)で発行している家庭通信「木沢だより」(六十一年十二月一日号)に載っていた便りです。更に続いて……地元の人が捜し求めた赤粘土をこねて、盃と茶碗、牛の文鎮を作り、乾燥させて焼き上がった品々は、色、肌あい、におい共に立派で重厚。名付けて「木沢粘土」……と書き綴ってありました。以来、陶芸を生涯学習の一つとして取り入れ、木沢陶芸教室を開設。学校の先生と地元の人たちが、焼き物に挑戦、製作に取り組み、「木沢焼」が誕生しました。また将来は、「木沢粘土工場」を建て、「地域おこし」にと大きな夢がそこに書き描かれていました。

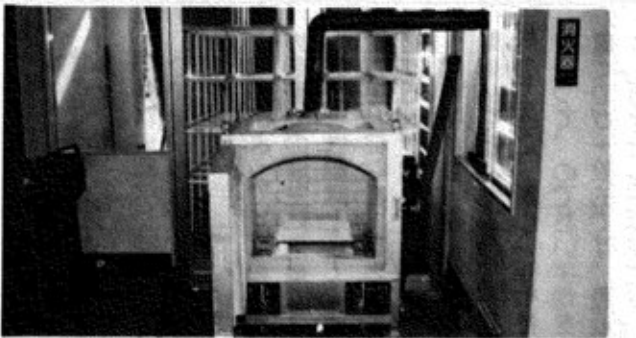


▲陶器に必要な道具は全部手作りです。ロクロの次にでき上がった土(左端)があります。図工室で

頭先生を尋ね、お二人にお話しを伺いました。木沢焼き誕生の、そもそも始まりは、「焼き物に使われる粘土があるよ」という地元の話しが発端ですと高野校長。また、「土(粘土)が出たが、こ

の土をどのように利用して、土器に使われるかが最初の課題でした」と小野教頭。そんな中で、「一番苦労したことは土づくりであったようです。当時、先生と地元の人(老人クラブ、PTA)たち五、六人で、土を粉碎してみたりし試行錯誤を重ねながら、ようやく焼きに入り、その結果、耐火土が低いことが分り、最初は土づくりに神経を使いなから、懸命な努力が行われた。

も協力して、確保にあたるなど、地区あげてこの陶芸を温い目で見守っています。
陶器の四つの条件
また校長先生から、陶器は主に「粘土」、「形」、「釉薬」を作ること、「焼く(焼成)」ことの四つの要素からなります。まず、焼き物を乾燥し、八百度で素焼きをします。次に釉薬(土灰・わら灰など)をかけ、千二百から千三百度で本焼きをします。中でも、最も大切なことは、土に合ったくすりを作ることにありますと教えてくれました。



▲これは陶芸窯です。本焼きは約9時間行われます。

「グイ飲み」など 他町村からも注文

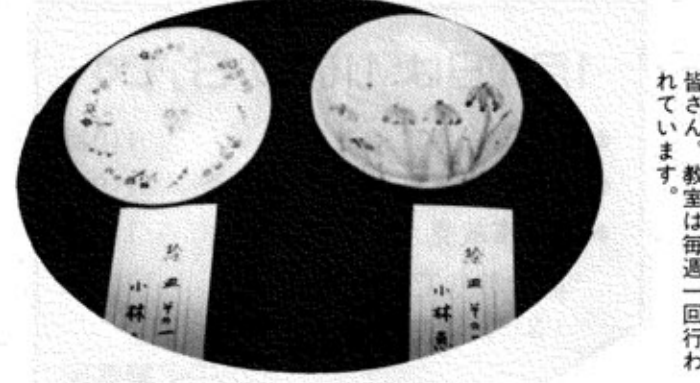
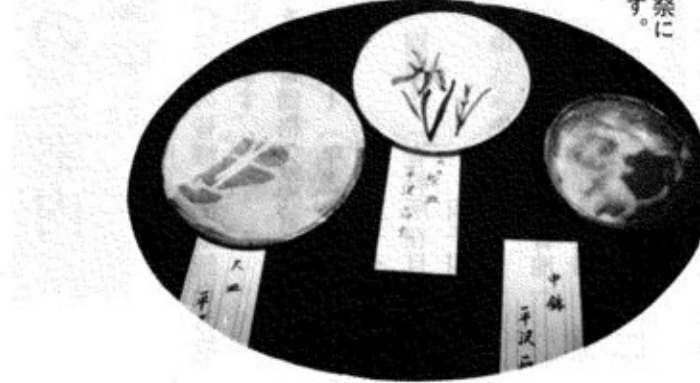
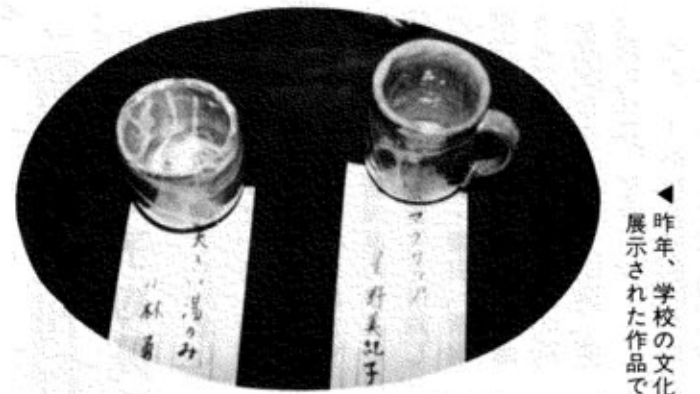
現在、木沢陶芸教室に通う生徒は、老若男女約十五人。同教室の指導にあたるのが小野教頭先生で、同教室は、一昨年の七月に開設され、今年で二年目を迎えた。この間、町の文化祭に作品を出展し、そのときばえに、訪れた人の目を見はらせた。また、昨年の同校文化祭にも、数多くの作品を展示し、その成果が着



▲形をつくっている陶芸教室の皆さん。教室は毎週一回行われています。

熱意と学習意欲が 自分と地域を変える!

一方では今、生涯学習というテーマが改めて取り上げられています。このことについて、小野教頭先生は、「一つは、「新しい社会変化の対応」二つに「自分を解放する」、そして三つには「趣味と職業」、四つに「都市集中型社会」の四つを上げてくれました。詳しい中味については、紙面の都合上省略させて頂きますが高齢化社会や国際化、情報社会を迎えての、新しい社会への変化に対応する教育、そしてストレスを解消し健康的で、加えて新しい物を創り出す創造的活動への参加や終身雇用が不慮に減っている中で、自分の職業の選択、更に人間らしく生きるためなど、私たちが取り巻く社会経済環境は複雑なものがあります。



こうした中で、一つの陶芸という学習を通して小野教頭先生は、「できた物を皆んなに喜んでほしい」、「自分を解放するきっかけや地域を見直し」、「資源を利用して、余暇活動に新しい仕事を見出し、人の生